

# CLA-2000による避雷器点検方法

適応機種

NRR-24M

## ●端子配列と結線図

本体部

ピン側よりの図

テストピン又はクリップにておこなってください

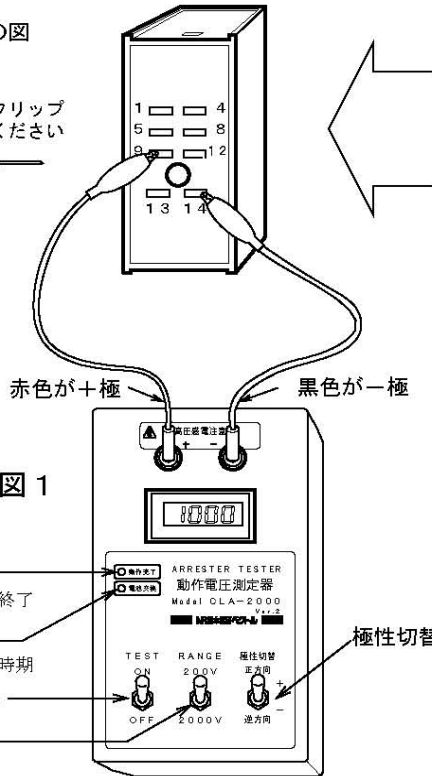
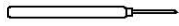


図 1

動作完了表示

緑色点灯：計測終了

電池交換表示

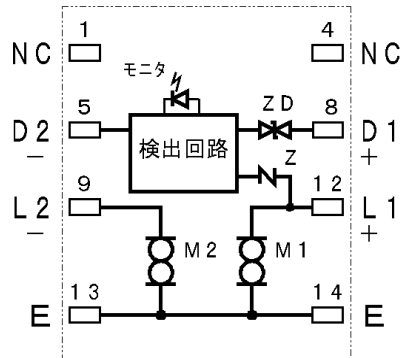
赤色点灯：交換時期

テストスイッチ

レンジ切替

極性切替

## ●本体内部の回路図



ZD: シリコン式素子

Z: 酸化亜鉛式素子

M: モリブデン式素子

## チェッカーの動作について

- ・チェッカーCLA-2000のは1mA以下の電流制限付きです。
- ・1mAを超えた時点で、数値をホールドして素子への電圧印加を停止します。
- ・TESTスイッチをOFFにするまで表示します。

## 注意事項

- ① 感電にご注意ください。  
TESTスイッチをONにしているとき、出力の電極を素手で触れないでください。
- ② エレメント部単独で行ってください。  
固定用ネジを緩めてソケットより外してください。
- ③ 電池交換  
電池交換ランプが点灯すれば新品と交換してください。  
本器を長期使用しない場合、電池は外して保管してください。

## ●素子の良否判定

- ① 測定する素子の動作電圧に合わせてRENJE(レンジ)を切り替えてください。
- ② 極性切替スイッチは正方向を定位置にしてください。
- ③ チェッカーCLA-2000のテストピン(またはクリップ)を下表端子番号に合わせて接続してください。
- ④ TESTスイッチをONに投入してください。
- ⑤ 指示値が下表の範囲内は正常、範囲外は劣化(不良)と判定します。\*1  
範囲外であっても信号に支障がなければ、新品の交換まで付け戻してください。交換までの雷サージ対策となります。

## <2線式信号伝送用避雷器>

各素子	測定端子間	端子番号 +極/-極	印加電圧 (レンジ)	極性切替	確認内容 下記の範囲であること	備考
接地間 M1	L1/E	12/14	2000V	正方向	350-850Vの範囲であること	—
接地間 M2	L2/E	9/14	2000V	正方向	350-850Vの範囲であること	—
線間 Z	L1/D2	12/5	200V	正方向	44-54Vの範囲であること	点灯確認可能
線間 ZD	D1/D2	8/5	200V	正方向	32-45Vの範囲であること	点灯確認可能
線間 ZD	D2/D1	5/8	200V	逆方向	30-44Vの範囲であること	点灯確認不可

線間のモニタランプ点灯は正方向で電圧印加が動作電圧以上の時のみ確認できます。